







惠頓氏萬國公海峽卷之三拾壹

丁未八月

惠頓氏萬國公法卷之拾壹

同盟國、貨物
ヲ奪回スル時其
國ノ規則ニ從テ
之ニ應テスルハ倫

第三百六十八條 一千七百九十六年同シク九十
七年英國ノ捕船敵國ヨリ葡萄牙國ノ船舶サンタス
第及ニ其他教第ヲ奪回セシ事件ニ就テ英國海軍
裁廳、判決ヲ言渡ス時斯果德氏(中)論シテ云ク
第テ此事件、何ヲ以テ真正ノ規則ト為ス
可キヤ、疑問アリ^{ト云}甚タ奇異ノ疑議ト云フ可
キ也我君^ハ真正ノ規則ト云フ時ハ之ヲ一途ニ歸
ス可カラズ即ケ文明國^各正理ニ注意シテ送
^ルニ相違身ス可キ者ヲ以テ真正ノ規則トスルノ
外アル可カラズ凡ソ各國ノ習法各^各一ナラス故

其一則ヲ撰シテ之ヲ**撰**一般法律ノ區別ト爲シ
 テ用ユルノ規則トモアル可カラズ茲ニ**撰**教則ア
 リ或ハ直チニ所有ノ權ヲ領スルノ規則アリ或ハ
 終夜及ニ二十四時間ヲ以テ有權ヲ宣ハルノ規則
 アリ或ハ城壘陣營ニ入ルヲ以テ決スルノ規則ア
 リ或ハ又直チニ没收ヲ要スルノ規則等アリ此數
 則何レモ實地ノ便宜ニ從テ十分適用スルヲ得可
 キ者ニシテ從令レ之ヲ思量スル時ハ蓋シ彼ヨリ
 此レヲ更ト爲スルノ僅差アリトモ余氏等ハ
 實地真正ノ規則ト宣ム可キ者アル可カラズ也

唯各國其堅固安全ノ所有ヲ要スルニ何テハ實ニ各國供
 同心一致スル所**本理**トス然レモ此所有スル權ハ
 ノ規則ニ至テハ甚ク一様ナラス又重ニ相互協
 テ具同心一致スル本理、**撰**一般ノ通則ヲ
 立ツル事能ハス又從令レ歐亞各國ノ公論**撰**
 公法ニ就テ此規則ヲ制定スルニ一致スルモ必ス
 一國ノ民ヨリテ之ヲ守ルノ義務ヲ有セシムルコ
 能ハス夫レ此義務ハ常ニ**撰**造ヒシ其行フ所レ
 因テ起ルノ義務ニシテ他國ニ行ハル、ノ規則更
 ニ我々**撰**所ノ規則ト果テハ時ハ我々亦法ヲ受

之ニ報^{カルラ}平ルハ國ヨリ正理ト為スノシテラス
 全ク如斯ク為サレハ能ハサル也例ハ愛ニ他
 國ニ行ハル、法貨物ヲ捕拏^{スルヤ}即チ直チ
 原主^{ヲシテ}其所有ノ權ヲ亡ハシムル規則ナル時ハ蓋
 シ真正ノ規則トナスト云フ捕拏^ヲ城壘陣營ニ
 齎ラス奪回ノ各時已テ原主ヲシテ有權ヲ
 脱セシムル如キ事^ニ廣實規則ニ依テ其他國ニ
 對シテ報ユルハ英國ニ在テ公平ノ所為ト云フ
 可カラサル也如此キ規則ヲ固守スルハ英國人
 對シテ雖も不^レ理不正ノ所為タルヲ免レス實際不

司法官

此條ノ規定ハ
 ノ權ヲ云フ

第三百九十六條
 斯米德氏ノ論

理不當ノ生スル規則ハ決シテ獨立國交際ノ真則
 有^ル可カラズ又^モ如此キ疑議ヲ一般生スルヨリ
 更ニ明確ナル規則アレハ想像^{所有}ノ權ヲ一國ノ
 民^{ヲシテ}冠^{ラシムル}ラシムルヲ敢テ其國ノ義務ト考^スズ
 能ハサルナリ故ニ今一方ニ想像ヲ以テ、空ム
 ル所有ノ權アリ又一方ニ實際^上有權ノ正
 理アレハ即チ實際^上正^理規則ヲ以テ獨立國
 交際ノ法ノ真則ト為サ、ルヲ得サル也
 第三百九十六條 斯米德氏云ク右ノ規則ニ付キ
 各國相異ナルニ因テ同盟國ノ貨物ヲ奪回スル時

司法官

何ヲ以テ之ニ由エル、^此逼則^ト爲ス^ルヲヤ^キ奪^レル
 ル、^此時ハ即チ答フ^ルニ如シキハ第一、其奪回物所
 屬ノ國法ヲ取^ルテ之ニ報^スエ^ルヲ公然至理ノ處置ト
 ナス^ルヲ以テス^ル可シ^キ余レ之ヲ各國ノ習法ト爲サ、
 ル^ヲ知^ル然^レモ公然^ト正理ノ規則ト爲^ス可^キ蓋^シ其奪
 回セラレタル者ニ取テハ其身ノ國法ニ由テ処セ
 ラル、ヲ以テ素ヨリ異存^ナク又奪回者ニ對
 ス^ルモ亦復^ス其^ノ規則ト考^フ可^キカラス即チ奪回
 セラレ、若^シ其ノ國法ハ奪回物ヲ沒收シ之ニ反シテ
 奪回ス^ルハ若^シ其ノ國法ハ直チニ之ヲ追還^スシ如シク反

若^シ其ノ規則ニ管涉ス^ル場合ニ於テハ抑、彼ノ國法
 ニ悞^リテ我カ國法ヲ適用ス^ルハ大ニ益アリト云フ
 可^キナリ又若^シ其奪回セラレ、若^シ其ノ規則ニテ直チ
 ニ追還ス^ル時ハ奪回ス^ル者ノ國ハ即チ國法ニ據
 リ^テ當然^ノ應報ヲ受^クル^ト考^フ可^キナリ^ト考^フ可^キナリ^ト
 彼若^シ此信ヲ破^リ當然^ノ應報ヲ欠^キタル時如何
 果^シテ^モ此疑問ヲ考^フ可^キナリ^ト考^フ可^キナリ^ト此時ハ即チ報復ヲ
 謀^ルテ以テ之ヲ恢復セ^ルヲ得^ス獨^ニ其國ノ
 多^ク論^ニ於^テ如此キ報復ハ之ヲ復仇^ト報復ト考^フ
 ル^ニ亦^シ其^ノ追復ヲ需ム^ル公平^{ナル}爲^ス然^レノ所^ニ爲^ストス

是レ後局ノ所為^{然レ}。シテ要ニ信用スルニ是レ可キ
 ナリ。因テ各回互ヒ人交際上ニ於テハ之ヲ細カ
 ニ算定シテ權衡平均ヲ得ル能ハス各解^果事^件ニ
 因テハ正理ヲ推定シテ以テ後來^ノ中^不レ^レハ^ハ顧^ス
 ス必ス行ハサルヲ得^ルヤ^ナカ^レト
 或ハ又茲ニ奪回セ^ル者ノ國法ニ於テ此事件
 ニ於テ一モ規則ナキ時ハ何ニ因テ處置ス可キヤ
 必ス此疑問アル可キ也。余レ又之ヲ答辯セシ借^キ
 第一如此キ場合ニ於テハ何ニ因テ之ヲ推定
 擬決ス可キヤ是レ最モ難シトスル所ナリ然レモ

字ニ奪回ニ付テ直チニ施用ス可キ孰初ノ定則ア
 ラサルモ必ス文明ノ通商^ニ於テハ從來ノ習慣法
 アラサルヲ得^ズ改^メ各回互時ニ當テハ我利^ノ處置
 ノ公布先^ニ出^スヲ以テ從來一般ノ通習トス故
 ニ此公布アル迄テハ即チ海軍執廳ニ於テ古來ノ
 習慣^ニ從^テ正^シク我利^ノ處置^ヲ為^ス之^ヲ後^チノ
 孰和法ト定ム可キナリ又^ニ若シ^テ東^ニ
 規則^モ非^ル國^ニ對^シテ奪回スル國ノ處置^ハ
 以^テ施^ス時^ハ此^時ニ於^テハ已^ムテ得^ス自^國
 規則ヲ以テ之ヲ處置セサルヲ得^ズ之ヲ後來^ニ日

盟國ハ遵守スルル規則ト有ルニ
 又或レ一國アリ其國法ハ他國ト、交際ニ其
 國ノ知スルニ其國法ニ從テ各、別ニ置
 處置スルトスル、法律トナル時ハ、
 其不規則ナル事言テ待タル也然レ能ク之ヲ
 思スル時ハ、
 理一ニシテ處置唯同ニカラサルノミ然レハ即チ
 之ニ從アルニシテ、規則ヲ取テ裁之ヲ用ユ
 キヤ若シ此國及同盟國ノ人民トナス時ハ其國
 法ニ從テ之ヲ處置ス猶ホ他ノ各國ニ對シテ其國

此ノ事
 全クトス

法ニ從テ處置スルル規則ニ於ルカ如シ
 斯ク抗論スル全理ヲ考フル時ハ不規則ト見
 ル所ハ唯其外表ノミニシテ、
 含蓄スル者ト云フ可キ也、
 似テ不規則ニヤラス實ニ他國ノ法ヲ以テ他國ノ
 處スル適當ノ規則ト云フ可キ也、
 又余レ、
 トス然レモ之ヲ詳明セントスルニハ先
 于付英國海上律ノ實例ヲ考フルヲ緊要トス夫レ
 英國海上律ニ於テハ英國ノ民ノ奪回物ニ對テ追

還救賞ノ實法ヲ用ユルハ以テ他國人ノ對スル時
 英人ノ所有品ニ對シテ、處置東ニ英國ヨリ嚴法ナ
 ルヲ見ル迄ニハ同盟國人ノ對シテ英法ノ利益ヲ
 得セシムルヲ判然タリ故ニ他國ヨリ我ニ報ユル
 ニ更ニ嚴法ヲ以テスル場合ニ於テハ即チ我ヨリ
 其法ニ從テ他國人ヲ處置ス之ヲ事由ノ事件ニ付
 英法ノ他種ナル者ト考テ事由ノ事件ニ付
 此規則ニ於テハ更ニ「デエケレジャ」船ノ事件ニ於テ
 明瞭タリ此事件ハ特別ノ權限ヲ以テ決メタルニ
 非ス又新條規則ニ因ルニ非ス全ク英國ノ熱權

米國敵國ヨリ奪
 取スル同盟國ノ貨物
 ニ付彼ノ行方所定
 相應者スルノ規則

ヲ以テ決メタルナリ此事件ノ辯論ニ於テハ
 當時有名ナル法郎ノ記載セシ規則ニ
 注意シテ決スル所トス英國ノ規則ハ
 同盟國ニ對シテ救賞金ヲ拂ハシメテ以テ貨物ヲ
 追還スルニ對シテ是レに從シ若シ英國ノ貨物
 ヲ獲利トシテ沒收スル時ハ英國海軍執廳ニ於テ
 之ニ報ユルニ其行方所ノ規則ニ從テ其事件ヲ決
 定ス

第三百七十條 米國ノ法律ニ於テハ同盟國
 屬スル船舶船貨及兵船ヲ以テ敵國ヨリ奪回ス

ル五國ノ船舶船貨ハ之ヲ追還スル。彼、行テ以
テ、~~行~~施ス、規則トシ嘗テ一千八百廿三月三日
公會ニ~~行~~テ決スル。凡、合衆國內ニ永住スル
外國人ニシテ合衆國ト親睦ナシ外國政府ノ守護ヲ
受ン者ノ船舶船貨ヲ合衆國ノ船舶ニテ奪回スル
時ハ之ヲ原主ニ追還スルノ規則トス。但シ、此時ハ
原主救賞金ヲ拂ハサント得ス。此救賞金、高ハ其
外國政府ノ法律習慣ニシテ、合衆國ノ船舶船貨ヲ奪
回スル時^均同様ニ討亦スル。定價ニ從テ定ムルナリ。
又若シ其外國ノ法律習慣ヲ知ン能ハサル時ハ合

衆國內ニ居住シテ、~~行~~合衆國ノ守護ヲ受ン外國人
ノ貨物ヲ奪回スル^時場合、~~行~~於テ定ムル所ノ救賞金
ヲ拂ハレムルナリ。然レモ若シ其船舶船貨奪回、
前發物トシテ沒收セラル可キ時ハ之ヲ原主ニ追
還スルナリ。又外國政府ノ法律習慣ニ
シテ合衆國人民ノ貨物ヲ捕拏シテ之ヲ追還セザル
時ハ又之ヲ原主ニ追還スル事アル可カラズ。
第三百七十一條、~~行~~貨物ノ事、付各國ノ法
律ヲ論スル^亦事、緊要トシ~~行~~各國ノ裁判法及
ニ裁判ノ決定ニ由テ之ヲ需^亦或ハ各國法ニ相

各國法律
各國法律

英國ノ奪回法

守ル可キ約定ニ由^ルル^ル必ス需^ル能ハス

第三百七十二條 現今ノ英國救賞規則ハテラルド
 第三世ノ~~...~~ 議定スル所ニシテ即
~~...~~ 英國ノ臣民ニ屬スル船舶^{船一具}被^レ敵艦ノ為メニ
~~...~~ 捕奪セラルル^モ復^レ奪回スル時^至英
 國ノ王ノ船艦ニ行^ク其空價ハ八分一ヲ救
 賞金トシテ原主^ト拂ハレシメテ之ヲ追還シ又國王
 ノ守護^ト受^ル私船或ハ他ノ船舶ニシテ之ヲ奪回ス
 ル時ハ六分一ノ救賞金ヲ拂ハレシメテ追還セラルル可

船被収

英國奪回法

規則トス又若シ國王ノ兵艦及シ私船ト共ニ
 協^力シテ^水奪回スル^時場合ニ於^テハ裁廳ニ於
 テ相當^至理ノ高^ク定^メテ^以テ救賞ヲ拂ハレムル
 ナリ然レモ若シ如斯クシテ奪回スル所ノ船舶被^レ
 敵艦トシテ^被裝スル者^ニ屬スル時ハ之ヲ原主ニ
 追還スル^トナ^ク我^レ知^トシテ捕者ノ裨益トナサシ
 ムルナリ

第三百七十三條 一千八百^年三月三日公會ノ議
 定ニ由^ク凡^ソ合衆國内ニ居住シ或ハ合衆國ノ守
 護ヲ受^ル人^民所屬ノ船舶貨物ニ付キ之ヲ奪回

3 miles 4 doll ap

諸法

スル前当然ノ執權ヲ以テ我初トシテ没収セラル
 可ヤモリニ非
 其空價ノハ八分一ヲ救賞トシテ柁ハシメテ
 又奪回スル所ノ船舶先キニ捕撃セラル。前
 奪回ノ前我船トシテ備装スル者モ之ハ其
 空價ノ半高ヲ救賞トシテ柁ハシメテ之ヲ
 追還ス又若シ奪回スル所ノ船舶合衆國政府
 ノ所屬ニレテ軍艦ニ非ス之ヲ奪回スル者モ
 時ハ救賞金六分一又官船
 八十二分一又奪回スル所ノ船舶兵船

米國奪回表

惠頓氏萬國公法第百七十三條載スル一千八百零三年三月三日議定
 スル船奪回ノ爲メ救賞金ノ定率

奪回セララル、ノ船舶	奪回ヲ	救賞金	船貨
私船 但シ我船ニアラザルモノ	官船	八分一	八分一
私船 但シ捕撃ノ前後及ビ奪回ノ前 我船トシテ備装スルモノ	官船	二分一	二分一
私船 但シ我船ニアラザルモノ	私船	二分一	二分一
官船 但シ我船ニアラザルモノ	官船	十二分一	十二分一

司法

官船	但し我船トナスモノ*	私船	六分一	我船トナス時ハ 五分一
官船		官船	四分一	五分一
官船		私船	二分一	五分一

*官船私船ト為スモノハ船賃^船船船賃共救費金ヲ抑フノ高^長異^事
 七ナシ(四分一及二分一)私船官船私船ト為サルモノニ至テハ甚ク
 不同トス(十二分一及七分一、六分一及二分一)

私船私船ニ在テハ私船ト為スノ旨無シ候ラス救費金ノ^船私船
 賃共^船不同アルナシ(八分一及二分一)憲法^憲成^成萬^萬國^國公^公法^法等
 三百七十三條

譯者云ク此表原^表然^然レ^レ原^原意^意錯^錯雜^雜詳^詳解^解ナ^ナラ^ラザ^ザシ^シ似^似々^々
 故^故に^に教^教師^師ニ^ニ山^山氏^氏更^更ニ^ニ表^表ヲ^ヲ解^解釋^釋シ^シテ^テ因^因テ^テ之^之ヲ^ヲ附^附備^備ス^ス
 作^作ル^ル譯^譯ニ^ニ

コレテ私船之ヲ奪回スル時ハ定價ノ半高ヲ以テ
 又官船^{之ヲ}奪回スル時ハ四分一ヲ以テ
 テ又政府ノ兵船ニ此議定ノ辭ニ因テハ
 船舶ト^同船賃ト^同視^視ス^ス價^價ヲ^定定^定メ^テ救^救費^費ノ^高高
 價^價然^然レ^レ私^私船^船ニ^此此^議議^定定^ノノ^辭辭^ニ因^因テ^ハ
 ハ其船舶ヲ軍船ト^解解^スル^トニ^拘拘^ラス^ル船^船賃^賃ニ^因因^テ之^之ヲ
 算^算定^定ス^ル(盡^盡シ^テ此^此議^議定^定中^中自^自然^然廢^廢止^止セ^テラ^レル^ル也^也)
 又此規則ニ付英米ノ間大ニ異ナル処アルヲ知
 ル可シ英國議院ノ定議ハ其奪回スル所ノ船舶^船

good prize means lawful prize

佛國有之法律

海峽

軍艦トシテ解スルニ非レハ總令ニ没收ヤラレ
 事一承スル時ト余凡原主ト奪回者ノ間事^{四條}
 權アリ然レモ米國公會ノ議定ハ^{四條}船權ハ貨物者
 然ノ裁廳ニ於テ没收ヲ言渡サル、迄テ存在ニ已
 テニ此執知ヲ受レハ^{四條}原主所有ノ權全ク^{四條}絶
 ス又是レ英國ノ海上律ニシテ英國ノ民ニ對シテ
 系^{四條}主物權ノ空律ヲ^{四條}復セシ迄テ行ハレシ規則
 トス
 第三百七十四條 佛國近時ノ奪回法ニ於テハ若
 シ佛船二十四時間以上敵手ニ在ル後テ奪回^{スル}

ル時ハ之ヲ奪回者^{正當}ノ執知トス然レモ若シ未タ
 二十四時間ヲ歷サレ内奪回^{スル}ヤラレ時ハ船貨ト
 共ニ之ヲ原主ニ追還ス但レ私船之ヲ奪回スル時
 ハ救賞ヲ定ムル^三船價ノ三分一ヲ以テレ又官船之
 ヲ奪回スル時ハ三分一ヲ以テス然レモ二十四
 時間敵手ニ在ルノ後テ官船之ヲ奪回スル時ハ十
 分一ノ救賞金ヲ以テ船船船貨共之ヲ原主ニ追
 還ス

佛國轉覆、大亂前ノ規則ニ於テ^二總令ニ二十四時
 間ヲ歷テ後テ奪回^{スル}所ノ佛貨ハ公船私船ニ因

司法官

テ奪回スルニ拘ラス儘テ裁知トシテ没收スルノ規則ナリト虽モ然レモ尔来佛國ノ公船ニ因テ奪回スルノ貨物ハ追還スルヲ以テ佛國一般ノ習慣トス一千七百七十九年六月十五日ノ規則ニ敵手ニ在ルニ二十四時間ノ久シキヲ歴テ後チ奪回セザル^{スルヲ}貨物ハ之ヲ没收シ或ハ相当ト思量スル^{スル}賞金ヲ奪回者ニ與フルノ權ヲ有スル事アリ或ハ各場合^時ニ於テ其模様、從テ國王裁量人等隨意ニ定ムルヲ得ルノ條^ニ款アリ

佛國ハ其同盟國ノ貨物ヲ奪回スル時自國ノ規則

第一冊 船法
ノ四世

ヲ施用ス故ニ嘗テ二十四時間ヲ歴テ後チ佛國ノ私船西班牙國ノ船ニ隻ヲ奪回ヒシ時之ヲ裁知トシテ奪回者ノ者^ニ没收セリ^維一千八百一年二月九日佛國裁官ノ決定トス^是設キニ在ルニ二十四時間ノ前後ニ係ラス公船奪回^テ時ハ佛國^ノ裁官ノ管スル習慣ニ從ヒ^且兩國互情ノ譯ヲ以テ之ヲ原主ニ追還^ヤレタムコ有ル可キナリ

又佛國ノ法律ハ敵手ニ在ルニ二十四時間ヲ歴ルトモ在モ^既敵見^既候テ^ル所ノ貨物ナルカ或ハ洋中危

難、為メ兵船、奪回ヲ候タス自然原主ノ手ニ再
 復スル時ハ枚差ヲ押ハシメテ原主ニ追還ス故ニ
 佛國一千六百八十一年ノ海軍律ニ云ク
 奪回ストニ非スレテ敵見棄テタル為
 ノ自然佛人ノ有ニ歸スル時或ハ敵捕撃シテ未タ
 之ヲ敵港ニ送ラサル前風波若シクハ自餘危難、
 為メ遂ニ佛人ノ有ニ歸スル時ハ從令ニ敵手ニ在
 ル二十四時間ヲ過ルト余比原主一年一日内ニ之
 ヲ請求シテ追還セラルノ條款アリホシ
 一ル氏云ク此條款、

船隻救済ノ通則

ハ敵船舶ヲ見檢テ之ヲ其港内ニ送ラザル前ノ場
 合ニ於テノ追還ヲ得セシムル解ス可カラス
 唯是レ通例起テスル一例ト示シタム
 過キ然レテ奈テ其ノ説ニ凡ソ法律ノ語ハ之
 ヲ其語ノ如ク明解セシムル可カラス故ニ
 貨物敵港ニ入ル時ハ原主所有ノ權全ク喪失シ又
 救済ノ如キナリ獲類ハ大ニ難船ノ場合ニ類似ス
 帝ノ奪回者ハ救助スル物價三分一ヲ討ムルノ
 權アリトス又アズビ氏之ヲ論ヒテ曰ク凡ソ如
 斯キ場合ニ於テ救済ノ規則ハ法律ニ因テ預定ス

西班牙國奪回法

可キ者モ非ス其救助スル功勞ノ大小様様ニ從テ
時ニ之ヲ斟酌ス必ス兵力ヲ以テ敵手ヨリ貨物ヲ
救助シ或ハ難船ニ因テ立フ所ノ貨物ヲ回復スル
時場合ト一樣ニ論ス可カラサル也エメリゴニ氏元
亦此疑件ニ知テハ其說亮林氏ト反對ス
第三百七十五條 西班牙國ノ以前佛國ノ奪回法
ヲ採用セバ蓋シ佛國ホーンボロ家西班牙國ノ王位
ヲ継テヨリ尔来佛國ノ我利法ヲ用セタルニ出ル
所トスサレギヤガ難船船ノ事件前ニ出ツニ於テハ
互ニ相行フ所ヲ見テ処置スルノ規則ニ因リ英國

以下自國ノ法
ニ適用ス

西班牙國ノ貨物ヲ奪回スル規則トシキ 西班牙法
ヲ用ヒタル然レモ一千八百一年六月八日 西班牙國
友國ノ貨物ニ對スル我利法ヲ変更シ即チ奪回
スル所ノ船舶敵國ノ為メニ貨物ヲ積載スル者モ
非ス而シテ之ヲ公船トシ奪回セラルル時ハ救済ハ
公一又私船トシ奪回セラルル時ハ公一ヲ抑
ハシメテ原主ニ追還セシメラルル規則トス但シ如
此キ貨物所屬ノ友國ニテ西班牙國ニ對シ同様ノ
処置ヲ用ル或ハ同エルトイフ旨ニ意セシ時
ニ非レハ如此ク為ス可カラズ又 西班牙國奪回

司法省

規則に古法ヲ存スル者アリ即チ敵手ニ
 在ル二十四時間ノ前後ニ係ラス西國ノ公船ニ因
 テ奪回セラルル時ハ救賞金ヲ拂ハズシテ追還セ
 ラル又二十四時間如船者ニ奪回セラルル時
 ハ救賞金三分一ヲ拂テ追還セラル又此時期ヲ過
 キテ奪回セラルル時ハ奪回者ノ有ニ歸スルノ規
 則トス又洋中ニ於テ見捨テラルル所ノ捕物或
 ハ救賞金ヲ出シテ原主ニ再返スル場合ニ於テ
 ハ其法佛國ト異ナルナリ
 第三百七十六條 葡國一千七百九十四年九月十六日九十六年

ノ法律ハ佛國及ヒ西班牙國ノ奪回法ヲ用ヒタリ
 然レモ一千七百九十七年五月サンタクリユビ船捕
 撃セラレ、後及ヒ此事件ニ於テ英國海軍裁廳
 ノ裁判言渡シ前葡國前則ニ復シタリ此則ハ
 敵手ニ在ルヲ以テ全ク原主ト所有ノ權ヲ絶シ
 此時期ヲ過スル公船者ニ
 捕撃セラルル時ハ一分一如船ノ有ニ捕撃セラルル
 時五分一ハ救賞金ヲ以テ追還セラルルノ規則ト
 スガシタクリユビ船及ヒ其類屬ノ事件ニ於テ斯果
 徳西一千七百九十七年九月、規則前後ヲ以テ奪

和蘭國貨回法
新法現今七
者在法用之
ナリ

噶國貨回法

四ノ區別ニ即チ此規則~~ハ~~施行ノ前存回シテ
既チ二十四時留敵年ニ在ル~~ハ~~之ヲ没収シ又
此規則施行ノ後存回スル~~ハ~~葡葡國ノ法
律ニ因テ定ムル救費金ヲ拂ハシメテ追還
ス

第三百七十七條 和蘭ノ古法ハ貨物敵年ニ在ル
時間ノ長短ニ從テ救費ヲ拂ハシメ追還スルノ規
則トス

第三百七十八條 噶國ノ古法ハ貨物敵年ニ在ル
二十四時間ヲ曆シハ之ヲ没収シ敵年ニ在ル~~ハ~~比時

瑞典國貨回法

我初法ニテ我船ト
シテ歸スル船
ノ宿

間ニ及ハサル~~ハ~~貨物ノ定價ノ半高ヲ以テ追還
ス然レモ一千八百十年三月廿八日ノ法律ハ貨物
敵年ニ在ル時間ノ長短ニ管テス貨價三分一ノ救
賞金ヲ以テ噶國或ハ同盟國ノ貨物ヲ追還スルノ
規則トス

第三百七十九條 一千七百八十八年瑞典國ノ法
律ニ瑞國貨物ノ救賞金ハ敵年ニ在ル時間ノ長短
ニ係ラス貨價ノ半高ヲ以テ追還スルノ條款アリ
第三百八十條 我船トシテ歸スル船船トハ何ヲ
以テ定ムルヤ即チ英國我初裁廳ニ於テハ之ヲ議

司長官

院ノ定例中ノ條目ニ從テ決定ス後院ノ定例ハ我
カ自國ノ法律ヲ解明スル所ニシテ其修日英米西
國異ナル事ナリ故ニ若シテ船舶元來奴隸貿易ノ
為メニ艦装スル者ニシテ捕撃ノ後テ更ニ幾多ノ
人臣^{捕撃スル}見^{ツ載スルト}テ兵臣戦争ノ免状無ク又或多
軍番無キ時ハ此定例ニ於テ之ヲ我艦トシテ艦装
スル船舶ト為サ^{兵臣}ルナリ然レモ艦中教門ノ大砲
ヲ具フル時ハ即チ之ヲ戦争ノ免許^モテ^モ決定
ス又船舶捕撃ノ後テ捕船トシテ艦装スル時ハ縱
令ニ之ヲ奪回スル時帝高船トシテ航スルト兵臣

海軍

海軍
英律ニ照
ス可シ

之ヲ我艦トシテ決定ス見レ捕撃セラ^ルノ船舶
一度ニ我艦ニ交スルヲ以テ從前ノ性格ヲ失フカ
故ニ^{兵臣}決スル^外ヤ^ル可カラズ又原主^回
艦^有權^全ク^消失^セシ^者ト考定ス又若シ船舶^敵
敵ノ海軍宰相ノ差圖ヲ以テ敵ノ軍用ヲ勤^ム
ケル者ト見エ^ルハ之ヲ我艦トシテ艦スルノ權
證トシテ決定ス又若シ船舶軍番ヲ備ヘ而シテ
便用スル者然^レ權威^{アリ}敵ノ將官ニ因テ軍用ニ
供セテ^ル時ハ從令ニ正シク戦争ノ免許^ヲ受^ケん
者ト兵臣亦我艦トシテ決定ス^善唯敵ノ軍番

司法

免状ナキ船舶ニ因
テ奪回スルノ權

ニ用ヒラル、一事ノ^{返テホク}以テ我艦ト決スル能

ハス然レモ^{イキ}軍事ニ用ニル船舶ヲ指揮スル權

威アル者ト推定スルノ正證アリ^{時ハ}其外置

行キ不明ノ處ニ^{モナルノ船舶ト}ハ裁廳ニ於テ即チ十分裁

船ヲ指揮スル^{モナルノ船舶ト}權威アル者ト推定スル一船舶ノ指

揮官ハ一船隊ノ指揮官ト同權ヲ有スル^{考ト考定}

ナリ

第三百八十一條 凡ソ免状ナキ船舶ニ因テ奪回

スルモノ^{覺モ疑ハレテ}行ツハ救費金ヲ與フルニ^{丁モ}妨

ケアル^{覺モ疑ハレテ}カ^{覺モ疑ハレテ}我時^{覺モ疑ハレテ}各民其國ノ民ヲ助ケテ貨

物ヲ敵キヨリ奪回シ^同相共ニ助クハ元ヨリ各

人^同ノ義務トス^ル故ニ^ル如此ク用ヒラハ^ル人^同民ノ救

費ヲ需ムル權ヲ與フルニ一ノ免状アルヲ要ヤ^{スル}

事^同レ如斯キ實功アル義務ニ付テハ^同國ヨリ

法律ノ許ル所トス又若シ一旦敵ニ捕撃セラレ

タル^同護送船ヲ我カ護送船ニテ奪回スル時ハ奪回

者救費ヲ需ムルノ權アリ然レモ一般ノ有益ニ設

クル船舶ノ救助ハ一モ救費ヲ需ムルノ權ヲ有ス

スルヲナシ

第三百八十二條

司法官

第三百八十二條 奪回^{シテ具}人ニ救賞金ヲ與^ルヤル

ノ權ヲ有セシムルハ必ス^{前キ}實地明確ノ捕撃既

ニアラサルヲ得ス^{蓋シ}元來戰時ノ救賞ハ實ニ貨

物ヲ敵ヨリ奪回^{ナサル}セザル^{ナリ}場合ニ於テハ之ヲ與^フル

ヲ許^ルルヤ^ハ以^テテ^ハ其^ノ實^ニ非^ズ敵

真ニ貨物ヲ^奪取^ルスルヲ以テ必ス至要トスルニ非

ズ貨物唯十分敵ノ^{管轄中}ニアルヲ以テ是レソト

ス^ハ第^一に^モ若シ船舶不意ニシテ敵港ニ行ク時捕撃

セ^ラル^ルハ^モ救^助スル^ル時ハ^且レ^モ唯^一平時ノ救賞ニ

シテ戰時ノ救賞ト云フ可キ^ハ非^ズ也^ハ然^レモ^モ奪

回ト做スニハ其奪回者貨物ヲ莫ク領取スルヲ要
セス只貨物ノ敵手ニ入ラントスルヲ救フヲ以テ
十レトス若シ夫レ敵船一旦捕拏セラレテ後ケ敵
船之ヲ奪回シ而シテ我復タ之ヲ奪回スル時ハ前
捕拏者救賞ヲ拂ハレテ貨物ヲ原主ニ付還スルノ權
アリ^{即チ}リカラス後ケノ捕拏者我利ノ全權ヲ所有シ是
レ再度敵手ヨリ奪回ヤ^{スル}レ^ニ因テ既ハ前捕拏者有ス
我利ノ權全ク斷絶ス又若シ前捕拏者其捕拏者棄却
シ結テ他人之ヲ捕拏スル時ハ後ケノ捕拏者ノ貨
物ノ權ヲ有ス然レモ若シ捕拏者棄却スル元未故

意ニ出ルニ非ス^{全ク敵}勢ノ強カヲ恐レ殊トニ弟
ニ捕拏者ノ所為^{ヨリ}因テ起ル時ハ前捕拏者ノ權十分
恢復ス又若シ敵船捕拏シテ後ケ其船ヲ棄
却スル時我之ヲ奪回スル時ハ蓋シ原主^{モト}尚亦之
ヲ棄却スルノ意ナキ^{勝ハ}以テ更ニ棄却スル^{モト}場也
トモ考フ可カラス故ニ救賞ヲ拂ハシメテ原主
ニ付還ス然レモ是レ^{モト}完ク我利法中ノ奪回トモ
不可カラス又救賞ノ高^{主テ}定セザルナリ^{我利法中}
敵^兵我カ^兵力ヲ恐レテ遂ニ捕拏者棄却ス
ル時ハ其ノ全ク我利法ノ奪回トナセザルニ又若シ
モノナクモ

司長自

捕者其捕物ヲ見候テタシニ後々中五國ノ故者之
 一携テ港内ニ賣ル時ハ即々中五國ノ海軍執
 廳ニ來テ救費ヲ議決スルノ權アリキ之ヲ我々
 國ノ原主ニ償還スルノ能ハズ且シ貨物一旦捕者
 ノ有ニ歸スルヲ以テ中五國ノ權アリキ之ヲ我々
 ラサル所有ノ權ヲ得ルモトス故ニ救費ヲ引テ残
 剩金貨ハ盡ク捕者ノ首ニ歸シ中五國ノ民我々國
 ノ民ノ間ニ立テ捕撃ノ正實ノ權アリキ之ヲ我々
 ハサレタリ然レモ若シ捕者具捕船ヲ中五國ノ
 船夫ニ與スル時ハ船夫即々救者トナリテ報費

海軍

此條重シヤ
 三回ノ義也
 ト云

金ヲ受ケテ其剩餘ノ金貨ヲ原主ニ還附スルノ
 事アリト案ニ敵國ノ船夫ノ權アリキ之ヲ我々
 或ハ捕撃スル船舶ノ逃去ハ故者ニ之ヲ救免
 スルヲ以テ全ク脱却スルノ權アリキ之ヲ我々
 一見テ此規則ハ敵ノ救助ニ於テモ通用セラ
 ルト案ニ若シ中五國ノ船夫ニ此救助ヲ為ス
 時ハ其國ノ對列救廳ニ於テ再々議決スルノ權アリ
 救費ニ付テは救者ノ權アリキ之ヲ我々

司法官

捕者 ^{本國} 裁判
裁判ニ於テ海ニ捕
獲スルモノ
論

同盟國ノ港内ニ在
ル貨物及
物
論

裁判ニ於テ

加フルニ平時ノ救済ニ注意スル可キ事トス

第三百八十五條 海上捕獲ノ正當ナル事ハ必ス

捕者、自本國或ハ其同盟國中ニ在

於テ決定ス此規則ハ捕獲捕者本國ノ港内或ハ同

盟國ノ港内或ハ中立國ノ港内ニ帶進スルハ敢テ

異ナル事ナシ

第三百八十六條 捕者本國ノ港内ニ帶進シテ

本國ノ裁判ニ於テ 裁判スル元ヨリ 疑フ

所ナシ 其二同盟國ノ港内ニ帶進スル時ニ於テハ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

其國ノ政府ニ對シテ 其國ノ政府ニ對シテ

司長官

ト考定ス

第三百八十八條

捕者本國兼艦ノ執權凡ソ捕

者本國政府ノ權威ヲ以テ我艦捕撃スル貨物ヲ決

定スル捕者本國ノ執權ハ固ヨリ他國ノ執權ヲ問

ハス更ニ專權ヲ有スル者トス然レモ此權ヲ

限制スル事ニアリ一曰ク中立國ノ疆内ニテ捕

撃ヲ行フ事ニ曰ク中立國ノ疆内ニ於テ我艦ヲ

艦ニ捕撃ヲ行フ事時

此場合ハ例レテ中立國ノ執權捕撃ノ正否

ヲ裁決スルノ權ヲ有シ已レノ民或ハ友國ノ民

貨物ヲ原主ニ送還シテ以テ局外ノ權利ヲ保護ス

捕者本國ノ執權ヲ限制スルハ此キ例外ノ事

或レ四ノ地方律法ニ依リテ其國ノ貨物於テ

不正ニ捕撃スルシテ其港内ニ帶入スル其國民

ノ貨物ハ之ヲ送還スルノ規則即チ中立國ノ

規則ニ依リテ其港内ニ入ル時其捕ス可キト否トヲ

決裁スルノ權ヲ有スル事

百八十一條佛國ノ海軍律中ニ載スル又一千六

百八十一條佛國ノ海軍律中ニ載スル又一千六

百八十一條佛國ノ海軍律中ニ載スル又一千六

林比云ク之ヲ公平ノ所置トス蓋シ捕者捕撃

司法官

ヲ携テ中五國ノ港内ニ入ルヲ許ル
為ノ月~~...~~我亦之ヲ報ユルノ原由ニ
歸スル所トス中五國捕貨ヲ携テ其港内ニ入ルヲ
或ハ准ルシ或ハ禁スル其便ニ從テ之ヲ定ム
ル^{ヲ得}宣^{ハト}シク各殊争國ニ對シテ公ヲ秉リ偏視ス可
カラサル也高ソ若シ其入ルヲ准ルヌ時ハ必ス中
五國ノ裁權ヲ用ユル事ヲ明言ス可キ也但中五國
ニ入ルヲ准ルヌノミニニテハ如此キ約定ヲ合意ス
ル者ト云フ可カラ^ス也^モ捕^ル如^キ許^ハ得^ル
捕者ハ捕貨所有ノ權ヲ失フニ非ス尚ホ其本國

ノ裁如裁廳ニ在テ捕撃ノ正否ヲ決スルノ權ヲ有
スルナリ此本國ノ裁權ハ捕貨中五國ノ港内ニ在
リ或ハ夫ヨリ裁廳在^ル捕者本國ノ城壘中ニ帶回
セラル、凡必ス施行セラシ、也右何レノ場合ニ
於テモ貨主中五^ノ人^ノモ亦捕^ル捕貨ヲ帶進^スル
國民ノ請ホモ一般殊争國ノ裁如廳ニ在テ之ヲ裁
決^ス其捕貨ノ跡如^キアルト非ルトハ独リ殊争國
ノ裁權ニヤルノ^ニ
第三百八十九條 此裁權ハ中五國ニ任^スル代理
ニ於テ施行スル能ハス即チ中五國ノ港内ニ在ル

司表

免状有るスル捕船及
其船ノ所為
捕者政府ニ責任ヲ受ル事

領事館及^{其他}捕者^{其地}ノ本國^{ノ命}ヲ受テ^{其地}辦理スル
者等^{其地}裁判ヲ為スノ權ナシ^又我時捕船ノ事件ニ^{其地}於テ
裁判ヲ為スノ權利ハ中立國ヨリ其疆内ニ在ル我
事國ノ代理ニ委^捕任^能ハス^{蓋シ捕船ノ者}
王權^破ラシ^非レハ中立國ニ於
テ^{捕船ノ者}非^レ也^故ニ中立國ノ港内ニ
在ル戰爭國ノ領事ニ因テ沒收ノ言渡シヲ為ス^{ト案}
其裁判トシテ捕船スル船舶貨物未^レト詳^レノ有^ク
ルヲ裁スルニ足ラサルトナリ

第三百九十一條 凡^レ捕船スル本國ノ裁判ノ裁權

外國裁判ニホテ不
以言居ララス事
論

ハ即チ捕船ノ事件ヲ裁決ス其裁判^{其地}ニ因テ捕者討
者及^レ西者^{其地}ノ屬^{其地}スル者^{其地}捕船ノ正否^{其地}ニ就
テ論スル^レ能ハス捕船ノ事件^{其地}ニ於テ全^ク
了結ス然^レニ其裁判^{其地}ニ因テ捕者ノ責任既^ニ了^ル
者^{其地}ハ免状ヲ得テ貨物ヲ捕船^{其地}シ又^{其地}船^{其地}ハ我時^{其地}ニ捕
船ノ正否ヲ決裁スルノ權アルニ依^テ之ヲ決定ス
故^ニ此捕船ヲ為シ此決定ヲ了^ルテ後^{其地}ハ一國^{其地}他國
ニ對シテ其責任ヲ免^レサルトナリ

第三百九十一條 ^{其地}凡^レ捕船スル外國人ニ

司法官

若し其害生る可キヤル
一書讀しヲ為ス時ハ即チ外國カヲ用ヒ強僥ヲ行
フノ權ヲ有ス^可蓋シ裁官ノ權ハ其自國ノ民
ニ行フ如ク之ヲ外人^{及ホス}ニ對シテ固據ニ行カ能ハス
彼我愛ニ異ナル所アリ自國ノ民ハ從令^{聊カ}ニ不正ノ
裁判ヲ受ルトムニ力カヲ用ヒテ其權初ヲ回復スル
能ハス又正然其裁判ニ抗拒スル能ハス^{各不}其言
度ニ服從^{スルキヤル}ヤカ^ハ得^ル及^シ是レ其國ニ居テ其保護ヲ
受ル^ルニ至キハ又勢^ハ之^ノ然^ルシ^ル所トス然レモ
外國人ニ至テハ強テ^正理直^ニ權ヲホムルノ權アリ^ル

(即チ強僥ヲ行フカ)

然レモ^{外人}正理当^ル道ヲ以テ權初ヲ^訂ムル^道得^ル
時ハ^可也^ハ女ス^ハ事^ハ忘^ルリ^カカヲ用ヒ強僥ヲ行フ^カ
^也得^ルト^ハ非^ルナ^レ也^也
實克舎^レ氏^ノ右^ノ事件^ヲ論^シテ云ク不正ノ裁判
ハ強暴ヲ行フト同一ニシテ此國ノ民彼國ノ裁廳
ニ於テ害ヲ蒙ル時ハ此國ニ於テ強僥ヲ行フ可
キ也^也奈得^ル耳^ハ必^ズ強^ク僥^ニ行^フ可^キニ至^ルル^ハ公義ヲ
以^テ裁^スル^カ方法ヲ^取テ^現然^ニ不正不公ノ裁
判ヲ受タルニ非^レハ之ヲ行フ可カラ^スヤ^ハ論
必^ズ小故疑件ノ原由ニ因テ其裁判ニ服セ

司法官

地方裁判ト別アリ
和裁廳ト別アリ
尚

サルト為ス可カラス也レ凡外國ノニ對シテ回
復ヲ需ムルヲ得サルニ非ルナリ

故ニ政協各國ニ於テハ屢ニ和約シテ強僥ヲ行フ

時ノ現公ヲ定メ真ニ公義ニ違フ時ノ外之ヲ行ハ

サルノ條目ヲ設ケタリシ裁判不正ノ言度シハ即チ

~~其没收ノ前此查セラ~~

ル、事實~~既~~ハ公義ト考ヘテ以テ之ヲ真ニ

第三百九十二條 地方裁廳ハ裁判裁廳ト別アリ

地方裁廳ニ於テ不正ノ裁判ヲ為スト雖モ強僥ヲ

行フノ原由ト為~~ス~~マ得ス地方裁廳ハ元來其國法

ニ憑テ裁決~~ラ~~ル也又我如裁廳ハ萬國公法ニ因テ

本國ノ外國人ヲ裁判ス呈レ抑、兩裁廳、異ナル

所トス~~事~~地方裁廳ハ外國人ト雖モ其回音ニ由

テハ其人其貨ノ裁判ヲ為スヲ得ルナリ此回音ハ

自~~ラ~~需~~ム~~テ明カニ~~裁~~判~~ヲ~~先~~ク~~

ヲ疆内ニ齎~~ラ~~スノ所為ニ因テ暗ニ

其意ヲ示スニ因テ審判~~ハ~~裁~~ト~~シテ我如裁廳ハ海上

捕斃ノ船舶ヲ裁判スルノ權アルヲ以テ~~素~~ヨリ外

國人ノ貨物ヲ強テ其裁廳ヤル~~由~~ニ携帶~~レ~~ズル

司法官

ナリ凡ツ天理ヲ ^{抑ス} ~~ル~~ 捕者本國ノ我知教廳ハ
 大洋中五國ノ旗號ヲ以テ航スル船舶ヲ捕撃シ
 之ヲ裁判スルノ專權アル可ラス如此キハ中五
 國ノ教廳ヲ以テ ^{更ニ} 當然ノ裁權ヲ有スル ^{トス}
 不^レ可^レシ公法ニ於テ ● 如此ク強カク ~~爾~~
 同^レ及^レ此國ノ主權ヲ以テ彼國ヲ裁判スル
 其公平ヲ得^レ可^レカラズ又偏視ヲ免^レ難キ裁廳
 ノ處置ヲ行^フカ ^{禁スル} ~~ニ~~ ^{アル} ^の ^キ ^也 ^然
 レ^レ實地ニ ^テ ^ハ 裁廳又公法ニ因^リ 我事ノ捕撃
 ヲ裁判スルノ權ヲ有セザンヲ得^レン ^{ナリ} ^蓋 ^シ 現

今ノ有様公法未^レタ完カラズ不正・中五國ノ貨物
 ヲ奪掠シテ ^{之ヲ裁} ^判 ^ス 處置宣シカラザンヨリ益ニ中
 五國政府ノ情ホク受^ケ其人民ノ為^メニ賠償ヲ需
 メラ^ル、こ^ト當^リテ ^之 ^ヲ ^妨 ^拒 ^ス ^ル ^能 ^ハ ^サ ^ル ^也
 抑^レ我知教廳ハ我争國ノ君主其臣下委任ノ捕撃
 ニ因^テ勉^ムル^ル ^の ^所 ^為 ^ニ ^事 ^ヲ ^ノ ^責 ^任 ^ヲ ^免 ^ル ^レ
~~シ~~ ^即 ^チ ^其 ^責 ^任 ^ニ ^為
 ルト否トヲ決定スル所トス夫レ捕船ノ責任ハ捕
 撃ノ委任ヲ受^ル 君主ニ對シテノ ^ノ ^責 ^任 ^ト ^ス 故
 ニ捕者 ^ノ ^責 ^任 ^ヲ ^可 ^キ 道理アリテ貨物ヲ捕撃シ又常格

リユヤンルニシ
論

ツリ一國ノ政府不正ノ所為ヲ作スニ至テハ此憲
ヲ受ケル彼國人民ノ為メニ必ス彼政府其恢復ヲ
討ムル權アリ一國ノ人民官吏或ハ執廳ニ由テ為
ス不正ノ所為ハ其國君ニ對シテ責任ヲ免レスト
モ他外國政府ニ對シテ責任ヲ受ルニ非ス外國政
府ヨリハ此國ノ政府ニ對シテ其罪ヲ問フ可キ也
此憲通理ハ又公法著者ノ卓論及ニ史傳ノ諸例ヲ
援テ更ニ之ヲ確定ス
第三百九十三條 リユツセルホルニ云ク凡ソ一國
捕貨ヲ裁判スルノ專權ハ畢竟捕者一般ノ免狀

我

或ハ特別ノ免狀ヲ得テ戰時為メ所ノ事ニ就
他國ニ對シテ一國信テ其責任ヲ受ル
者ノ所為ヲ検査スルノ權利ニ基テ制定スル所ト
ス故ニ一國捕者ヲ裁判スルノ權アリ
ニテ船舶貨物ヲ捕奪スル時ハ必ス之ヲ捕者本國
ノ港内ニ帶進シテ其罪ヲ仰カサシムルカラス一國
捕者ノ正理ニ在ルト非ルトヲ決スル迄ハ必ス
捕者ノ有トナル能カサシムル此事件ヲ決スル捕
者本國ノ私權ハ實ニ專權ニシテ全ク其本國ニテ
検査ヲ究ムル迄テハ他國決シテ其捕者ノ所為

司法

私刑
以テ真

犯す請ふヲ討めん能ハス是レ他國ハ捕者ヲ裁判
 スルノ權ナク又捕者ノ行フ所ニ犯テ責任ヲ受ル
 者ニ非ルヲ以テナク然レモ捕者ノ本國ニテ其國
 民ノ所為ヲ犯査シ捕拏スル^所ノ船舶貨物ノ^正取
 扱ハ^勢ハ^決スルトモ^亦此事件ニ付
 其國民ト其貨物ヲ請求スル外國トノ間ニ生スル
 疑件^{争論}ヲ裁決^{此争論ハ大洋中ニ在ルノ外自國內}
 ニ起ル事ナシ故ニ此事件ニ施行スルノ權利ハ^民
 事裁權法ノ裁權ニ非ス民法ハ其本國ニ^屬固有
 スル^{モノ}ニシテ如此キ争論^法ニ^處置スルノ法律ニア

ラサルナリ其争論ヲ生スル場所及ヒ此ニ管係ス
 ル人民モ^{其國}民法ニ服ス^{可カ}トナシ^也如斯キ争論ヲ裁決
 スルハ独リ萬國ニ法ヲ^用外マ^ン一ツカラ
 ス然レモ^之捕者^ト討^主ト^送ヒ^公法ヲ離
 レラ別ニ遵守ス可キ^{規則ヲ設ケ}兩國^間ニ^後時
 ハ敢テ又公法ニ頼ルニ非ルナリ蓋シ此約定ハ唯
 其兩國ノ交際ニ在テ^用ヒラル、ノ法律^{トス}故ニ
 捕者ノ本國ニテ捕拏ノ正理^ニアルト非ルトツ決
 セントスルニハ即チ其約定^ニ依^ル公法ニ^照テ判
 決ス捕者本國ノ裁權ヲ以テ未タ十分ノ裁判ト云

置クノミナラス尚ホ其裁判ヲ徑テ言ハ過セサル
 時控告シテ以テ其屈ヲ伸ヘシメシカ為メ更ニ又大裁廳
 ヲ置クヲ以テ一般ノ凡習トスルツ中五國ノ人民
 ハ外國小裁廳ノ枉對ヲ徑トシテ其後々々自餘幾多
 本大裁廳在ル時ハ之ニ控訴シテ以テ更ニ覆審ヲ
 受ケ大裁廳善ク前小裁廳ノ裁判ヲ確定シテ云々
 非レハ必ス冤ヲ自國ニ訴テ賠償ヲ討ムルノ權ナシ
 アル可カラズ此裁廳ハ何レモ捕者ノ所為ヲ審査
 スル為メニ設クル者ニシテ此各廳ニ於テ全ク
 査ラ遂ケサル内ハ未タ一國裁判ノ權有ルモト云

フ可カラス此各廳ニ於テ小裁廳ノ裁判ヲ確定シ
 弥々枉對ハ決スル時始メ中五國ノ君主始メ之ヲ
 其身ノ本國ニ訟ヘ以テ賠償ヲ討ムヲ得ルナリ然レモ
 忘リニ訴フルヲ得ルニ非ス公法ニ於テ君主實ニ
 枉對ヲ徑テ冤ヲ伸フンノ道ナキニ非レハ其懸
 償ヲ得ルノ權ナシ如此ク順應ヲ徑テ其本國ニ訴
 フルハ即チ兩國事論ノ相違トナレリ然レモ
 天理ニ於テ各人必ク如此キ事ヲ為スルヲ得セシムル
 故ニ此中五國ノ主宰其強償ヲ用ヒ公裁

シレニアに員使
事件の白報達
論

ホサントスルハ先ツ南子テ

及下不前他國ノ主宰ニ訴ヘ以テ正理報先ノ意旨

ヲ満足シ何故尚ホ正理ヲ以テ裁判ヲ為サ、ルヤ

再ニ試ム可キナラフ要務トスラ極テ後ヲ行フ可キナラフ

第三百九十四條 一千七百五十三年 英國政府、

呈シタル有名ノ報達ハ即チ英國ノ捕船普國ノ民

ノ貨物ヲ捕拏コレニ因リ普王許シテ強償ヲ行

ニ捕者ノ本國ニテ捕拏ノ裁權ヲ確定セシ事件

レチ其報達中ニ云ク凡ク公法ハ公義ニ基テ

制定スルカ故ニ一國ノ裁廳ニ於テ全ク公義ニ背反シ

テ法ヲ枉スルハ此國君之ヲ確定スル時ノ外必ス

再チ強償ヲ許ルス可キモノニ非ズ

ヤリ即チ此報達書ヲ記載セテ明瞭ニ説ク一國ノ

各裁廳悉ク公義ヲ破リ後チ其國君之ヲ確定セシ

時ハ即チ其國ノ裁廳ニ強償ヲ行フノ正理アルハ

明瞭ニ示シ得耳氏同論

レノ説ク一層明確ナラシメシカ爲メ右ノ報達書

ヲ援キタルヲ以テ其説ノ同レキヲ知ル一のキヤリ

夫レ一國ニ對シテ強償ヲ行ヒ強訴ヲ爲スハ其國

ノ裁廳ニ於テ全ク公義ヲ失ヒ規律ヲ破リタル

目下軍判並明確ナル時ノ外決シテ容易ニ平ク

司法官

施行^行カラス^行是レ曰ク論スル所^行

右ノ事件ニ就テ當時普國ハ中立國^{中立}トシテ普王其

國內ニ一廳ヲ開キ以テ英國裁判裁廳ニ就テ普民

ニ對シテ法律^{法律}ヲ裁^裁判^判スル^再ニ^裁査^査セ^ント^シテ企テ

タリ^{手時}此^{公時}英國政府^{公時}報^報告^告セ^ル記者^論ト^シテ

罪^罪裁^裁判^判スル^事ト^シテ^裁例^例未^未タ^聞カセ

ル所^所ト^シテ蓋^蓋シ^テ真^真ト^異異^異ト^シテ^裁判^判スル^事ト^シテ

捕^捕貨^貨ノ^二云^云現^現ニ^ハル^ト非^非シ^トテ^裁判^判スル^事ト^シテ

捕^捕撃^撃ヲ^行フ^捕者^本本^國ノ^海軍^裁廳^ニ就^テ決^スル^事ト^シテ

實^實ニ^此事^事ト^シテ^裁判^判スル^事ト^シテ^裁判^判スル^事ト^シテ

然レトモ^裁判^判局^局外^外ノ^外國^君主^ハ公^法ニ^從

ト^モ或^或ハ^約定^ニ依^テ其^臣民^ト裁^判ス^ル公^義ノ^裁判^判ヲ^望

ム^ノ權^利ヤ^リ故^ニ若^シ公^法ニ^反シ^テ約^定ニ^背キ^テ

ル^裁判^判ヲ^受ル^時ハ^中立^國ヨ^リ如^レキ^裁判^判ヲ^裁判^判

ス^ルノ^權アリ^トシ^テ記^載セ^リ

普^普王^英國^裁廳^ノ決^定ヲ^裁判^判シ^テ而^シテ^普國^ノ船^舶不

正^正ノ^捕撃^ヲ受^テ之^ヲ沒^收セ^ルタル^為メ^英國^政

府^ヨリ^賠償^ヲ得^ル迄^テ英^人ニ^拂フ^可キ^負債^ノ利

金^ヲ止^ムル^事ト^シテ^裁判^判ス^ル事^トシ^テ取^押ヒ^テ

英國^裁廳^ノ處^置ハ^繼令^ニ戰^時ノ^捕貨^ヲ決^スル

一千七百九十四年英米
約定ニテ
合軍軍ヲ置ク事
委員
編

ノ正法ニ
英國政府ニ對シテ賠償ヲ望ムル得サルモ
ト考テ可カラサルナリ

第三百九十五條 一千七百九十四年英米約定ニ
テ組合官^{艦ヲ置キ}以テ佛國トシテ戰爭中英國ノ捕
船ニテ捕拏スル米國人民ノ請^ハボフ公法ニ
從テ決定セシメタリ此官廳^{更置}於テ英國政
府^{對シ}我利控訴廳ニ於テ沒收ノ言及シテ確定
セシ事件^ハ此官廳ニ^{抗論}
ヤリ此控訴廳ハ固ヨリ公法ニ從テ我利ノ事件ヲ

至理当然ニ裁判ス可キモト考定
此裁廳ニテ^{言及シ}終結シ裁判言及シハ十分信ス
可キモノト為スナリ此官廳ニ於テ^{抗論}
既ニ論スル所ノ本理ニ基テ在^{抗論}ヲ肯シセス
沒收終結ノ言及シ後ノ事件ニ於テ^{抗論}ハ相當ノ賠
償ヲ^{望ム}ル得ルナリ
第三百九十六條 又戰時捕拏ヨリ生スル事件ニ
付中立國人民ノ請求ヲ^{査シ}テ之ヲ決定センカ為
メ^{各國軍ニ會同シ}組合ノ官廳ヲ置キタル^{見極}
諸例ヲ^記載ス^見捕者ト捕拏セシムル者ト

司法

問 就 戰利裁廳 裁判ヲ再興回復スル旨趣
 非ス公義ノ裁判ヲ徑テ至當ノ賠償ヲ得サル時
 各國ノ間ニ立テ至當ノ賠償ヲ定ムル為ニ設ク
 ル所トス凡ソ公法ニ於テ戰利裁廳ヲ論スル時ハ全
 ク中立國ノ設立スル者ト一樣公法ニ從テ兩國俱
 ニ通用ス可キヤウ制立スルモノト案ハ然レモ實
 地ニ於テ之ヲ論スル時ハ各戰爭國ノ主君
 ニ因テ必ス最上ノ規則ニ適不可キヤウ問ハサルヲ
 得テ戰利法ヲ出スル能ク知ル所トス故ニ
 此戰利裁廳ニ於テ決議スル結局ノ裁判ノ理ニ於

○裁判ヲ當理正裁ト為ス
 時ハ中立國ニ對シテ至當
 ノ權ヲ及ホシ公法ニ適ハ
 カル論ヲ拒妨スルニ至
 ラス

才更ニ疑ヲ入ル可カラズ十分慥カナル裁決ト考
 案スルニモリ 雖モ亦其戰利法ヲ出タレテ
 中立國ノ權利ヲ壓シ及ヒ其規則ニ因テ裁判ヲ言
 渡スル外國ノ守ル可キ法律ニ適ハサル
 拒妨スルノ事故必ス生スルキナリ
 第三百九十七條 此規則ハ近時英國及ヒ暹國ノ
 會議ニ於テ確定セリ且ヒ暹國ト英國トノ戰爭中
 暹國ノ捕船英國ノ船舶船貨ヲ捕拏スルモノヲ決
 定セシメ 爲シテ設ケタリ 此會議ニ於テ暹
 國宰相ヨリ凡ソ戰爭國ノ戰利裁廳ニ捕拏ノ條

決ラ遂^{タル時}ハ再^ニ ~~...~~ 茲^ニ 疑問ヲ興ス可
 カラサル^ト ~~...~~ 此^ニ 米國政府ニ於テ捕者本
 國ノ裁權ハ其捕者ノ正理^ニ ~~...~~ ^各トナル^ト ~~...~~
 審決シ^テ 原告ヨリ捕者ニ所有ノ權ヲ移スノ權
 アル^可ク又此裁廳ノ終決^ニ ~~...~~ 所有ノ權利ヲ ~~...~~
 他ノ裁廳ニ於テ再^ニ 之ヲ^レ 査ス可カラス又捕者
 ト捕者セラ^レ ~~...~~ 者トノ爭論ヲ ~~...~~ 終決^シ ~~...~~ 向^テ
 未^レ 異論ヲ起ス能ハザルノ權アル ~~...~~ 可ク此等ノ
 數條ヲ ~~...~~ 米國政府ニ於テ ~~...~~ 美諾セリ ~~...~~ 故^ニ ~~...~~ 合衆國政府
 ヨリ 暹國政府ニ需ムル請求ハ 暹國裁廳ニ於

テ一旦言渡シタル裁判ヲ再^ニ 回復スル為メ非
 ス更^ニ 暹國裁廳ニ於テ公義ヲ失^ス 暹國政府其捕
 船裁廳ノ責任ヲ受ル為メ米國人民ニ對シテ相当
 ノ賠償ヲ為サシメンカ為メ又暹國政府ニ於
 テハ勿論公義ヲ失シタル裁判 ~~...~~ 自ラ思量シ
 テ之ヲ償フ方法ヲ定ムル ~~...~~ 最
 善^ト ~~...~~ 即チ其公義ヲ失シタル裁判ハ
 更^ニ 之ヲ再考^シ ~~...~~ 暹西政府ノ ~~...~~ 以テ公平ノ
 裁廳ヲ開キ^テ ~~...~~ 之ヲ論定ス此裁廳ヲ開クハ敢
 キ一旦沒收セラレタル貨物所有ノ權ヲ破ルニ非

ス或ハ捕者ト討主トノ事論ヲ回復スルニ非ス全
ク一國ノ裁聽ヨリ一國ノ人民ニ對シテ公義ヲ失
シタル事件ヲ兩政府^本決定シ^而之カ為メ一國
ヨリ一國ノ人民ニ賠償ヲ為スヲ論決スル為メナ
リ^{此レ如ク兩國論ヲ定メテ後ニ遂ニ}

如此キ正別ノ利然タルヲ^{兩國}啞國宰相ニ因テ^同
同意^{一致}米國討主ノ為メニ当然ノ賠償ヲ為ス
ノ約定ヲ決定セリ

第三百九十八條

不動産所有
ノ權ヲ移ス事
論

第三百九十八條 戰時捕拏スル動産ハ或ハ之ヲ
堅守スルカ或ハ裁聽ノ審判ニ因テ^{全ク}捕者ノ有
~~事~~ハ既ニ前條論スル所トス然レモ不動
産ニ就テハ其規則甚タ一樣ナラス不動産ノ原主
ハ所謂^{回復}權ヲ有スル者ニシテ捕者不動産ヲ獲
テ所有ノ權ヲ堅固ニセントスルニハ必ラス和約ニ
因テ^確確定^シ然レモ此規則ハ私
産ニタダク用ヒラル、^一無^事近世各國ノ通習ニ於
テ私産ノ没收ヲ廢シタル故ナリ^{實ニ}戰時敵佔踞
スル政府所有ノ地ヲ讓與スル^事ハ最モ緊要ノ

敵ニ信ヲ守ル論

司法省

事件ニシテ必ス明カニ和約シテ土地讓與ノ事ヲ
 確定^{モラル可ラス}不可^{モラル可ラス}シ若シ此確定ヲ為サレハ即チ未ダ原
 主ノ^{回復}歸國權ヲ存在ス例一ハ此^キ土地ヲ買フ者
 アリト雖モ其土地原主ニ復ス時ハ買者即チ
 之ニ據ル能ハサル^{ナシ}
 第三百九十九條 虎哥氏^書各國ノ^{古今}證^跡握テ敵
 國ニ對シテ^其信ヲ尽サ^ルルハ得ザン^事論
 タリ又實克全^ニ敵ニ對シテ欺罔ヲ用ニルヲ許ン
 スト雖モ^{能ハル}敵ト約定ヲ^{能ハル}結ビタルニ其約定尚ホ存ス
 ル間ハ^{暫ク}敵^ニ對シテ^其信ヲ失フカ故ニ

我レ其約定ノ信ニ背ク^{能ハル}ト^{能ハル}禁^ル又同氏又云ク約定
 ノ信ニ背クヲ除クノ外敵ニ對シテ欺罔ヲ用ニル
 ヲ許ル^所シ而シテ其約定ノ信ニ背クヲ許サル^所ハ即
 チ^{レテ}敢^テ之ヲ敵ニ對スル不正ノ所為ト為^ル
 ニ非ス然レモ其約定ノ存スル間ハ我カ信ヲ敵ニ
 售ル^ラル^テ其^期數^ニ元^{ヨリ}暫^クテ^其敵ト^其非^ルヲ以テ
 ナリ^其實^ニ如此ク信ヲ守ルノ寛法アラサレハ我々
 ノ害側ル^期可カラズ何レノ日カ和^ス復スルノ^期勿
 ル可キナリ故ニ文明各國ノ習慣ニ於テ^其時ト雖
 モ^其選^ビニ^其盟約シテ交通スルノ禮ヲ定メ^其彼^ニ比^シ生^ル未

司法省

其時、^不再^為、特權ヲ授ケラル、者、^モ非^ス、^ス擅斷^ス、^ト其^レ之^ヲ決スル^ヲ得^ル可^シ、蓋シ兵ヲ用ニルノ權ヤ、時ハ其職掌ヲ尽ス、^コソリ、臨機必ス示如^ク、此キ權アラサルヲ得^ルナリ

第四百二條 兵ヲ停ムルノ約ヲ決定スル時ハ之ヲ決議スル將帥及^シ其麾下ノ^ノ衆^必ス其期日ヨリ謹^ニテ其約ヲ守ラサル可カラズ、然レモ、^其他^ノ臣民^ニ對シテ之ヲ守ルノ公布^ヲ心^ニ為^ルカ、ん可カラズ、蓋シ未^ダ其公布^テラサル前^ニ約^ニ背^クテ敵對^ノ所^ヲ為^ルト^キ、時ハ其者^ノ獨^リ責^ム、^フ學^ニ非^ズ、但^シ

註明スル、協

ト、非^ズト、^其既^ニ公布^{アル}ヲ知^テ故^ラニ之ヲ知^ラサルト^モ、^其違^ハ、^其時^ハ其者^必ス責^ヲ免^ル能^ハサルヲ以^テナリ、夫レ一國ノ主權ヲ以^テ約ヲ違^フ時ハ、朋許^點許^ヲ問^ハス、必ス之ヲ守^ラザルヲ得^ル、^又故^ニ、^其時^ハ海上捕^撃ノ萬^貨ハ捕^者、政府ヨリ必ス之ヲ^送還^セサルヲ得^ル、故^ニ、^此キ事件ヨリ生^スル條議^無ラ^シメ^カ、^為メ^テ、^其體裁^ハ、^日期^土地^ノ、^遠近^ヲ思^考シ^テ以^テ之^ヲ定^ムルナリ

第四百三條 盟約^ノ、^其解^説スル^通則[、]外^表、^兵ヲ

休戦ノ期満テ
後ニ戦ヲ始ムル
論

ハ和約ノ名

土地ヲ領スルヲ率フヤリ

以上ノ三則ハ休戦ノ約ヲ取役フ者ニ由テ互ニ

明議ニ以テ相増減スルヲ得可キ也

第四百四條 凡ソ休戦ノ期満テ後ニ復テ兵ヲ

交スルハ自然ノ勢ニシテ

然レモ若シ約定ニ於テ休戦ノ時期ツ定

メス或ハ其時期長クナリ

ル時ハ即チ

敵ニ前報ス

此中ハ古時羅馬國費國ト戦フ時休戦ノ時間長ク

ナルニ費國ノ其期ノ満ルヲ俟タスニ再ニ兵ヲ

興シタリ然レモ羅馬人仍ホ禮ヲ以テ使フ遣ハシ

賚儀ヲ許シ而シテ後ニ復テ戦フ始メ

第四百五條 兵軍城砦及ニ地方等

不レハ

主事ト攻兵ノ將帥ト投降ノ約ヲ定ムルニ事已ム

ラ得サレハ

後ニ之ヲ確定スルヲ要セサルナリ

居民ノ宗教權利安全ト爲

期ヲ定ム

司志人

休戦ノ約
ル事
論

確定

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

其
後
復
テ
戦
フ
始
メ

勝者、對シテ再ニ兵仗ヲ執ル可カラフ也。其ノ事ハ、
 他事已ムヲ得サレハ出ル不時ノ事ヲ決スルニ至
 テハ將帥ノ毎ニ學ル所トス然レモ若シ城ヲ守
 ル將官其地ヲ永久讓スルノ約ヲ結ビ或ハ其
 權中ト非ル約ヲ供ブカ加キハ全ク權ヲ擅ス
 屬シ所トス之ヲ越權ノ所ト稱ス
 第四百六條 古時羅馬國ノ將官「ロー」ニホリク
 二於テ「カム」ト決シタル條款ハ即チ越權
 有名ノ約定ニシテ當時羅馬國ノ元老議シ
 テ其約定ヲ肯シヤル所者「虎哥」及「亮得耳」氏

此ノ約ヲ
 羅馬國ノ
 元老議シ
 テ其約定
 ヲ肯シヤ
 ル所者
 「虎哥」
 及「亮得
 耳」氏

此條詳論ニ據リ
 二勅ヲ
 直捷ニ教示シ
 經テ再授スル

大ニ此所為ヲ賞讃シ而シテ之ヲ論コテ云ク固ヨリ
 カムトテスルハ羅馬將官ノ如此キ盟約ヲ為スノ
 權無キヤ必ス不^了可^了ナルヲキ^了此約定ニ因
 テ我前ニ復セシム可カラズナリ當時羅馬ニ北
 テハ將官ノ所為不當ニ出^テテ以テ^テ盟約ノ
 本クヲカムニテスニ置ハシ以テ其原約ヲ廢シ終
 ニ再ニ我テ其強敵ヲ肱從セシメタリ
 第四百七條 政湯七年間ノ我軍中ハ
 於ル莫軍ノ指揮官「キムベル」ラレド、候族ト佛軍
 ノ指揮官「マト」ナルリセリユ、此日耳曼ノ北都休敦

ノ為メゴロステルセー
 盟約ハ近世ノ史歴ニ記載スル要ニ有タル也
 權ノ約定トス柳、当時英佛兩政府ノ議論ヲ案ス
 ルニ果シテ公法ノ大理ニ
 然レトモ英法如キ盟約ハ、
 出ル
 於ニ調印セシ盟約モ亦同一ノ所為トス

ロステルセーフェニ
 府ニ於テ最初英將
 ラサシテ原ヲ以テ後約ヲ行フヲ准ルスヲ肯セセ
 而シテ
 既ニ
 行フヲ許ヤス
 シタリ
 宰相殊ニ
 カレベシ氏ニ於テハ一モ破約ノ證ヲ顯ハス

式ノ処置ハゴロステルセーレシニ於テキムベ
 ラン上候族ノ処置ト比較スルノ難シ必ス比較
 スル能ハサル可シ此候族ノ処置ハ時ノ模様ニ從
 テ事ヲ決シ調印スルヲ和アリト考フハ時ハ之ヲ
 行ヒ而シ又時ノ模様変ヒテ已ニ之ヲ利アラザル
 ト考フル時ハ之ヲ行フヲ肯シセザルナリ此盟約
 ニ於テハ時以テ緊要トス實ニ時ハ約定ノ本体
 ト云フ可キナリ若シ夫レ事直ニ行フ能ハザル
 時ハ之ヲ為シテ其功ナキニ至ル或ハ新クニ會談
 其事変セザルヲ得ザルナリ

通行免状

典フル事

三三九條ヨリ
三三五條ト

敵國ト
 通免状
 事
 論

第四百八條 通行免状護身免状等ハ我時其人其

貨ヲ保護スル為メニ典フル證書ニシテ之ヲ出ス

ノ權ハ既ニ論スル所トス此權感ハ海陸將帥

在リ或ハ文官明ニ其權ヲ有シ或ハ暗ニ其權ヲ

有シテ之ヲ出スナリ如キ免状ハ必ス宏寛誠

信ヲ以テ解明ス可キモノトス

第四百九條 我時敵國ト通商ヲ准ルス為

メ自國ノ民或ハ敵國ノ民ニ典フル免状ハ其解明

スル文書ニ從テ交戦ニ係ラス貿易スルヲ准ルス

モノトス故ニ敵國ニ於テ此免状アルニ因テ其人

ヲ捕シ其貨ヲ没収スルノ理由ト考フルト其貨之
 ヲ出ス國ニ林^故海軍共屬ニ於テハ其免状ア
 ルニ因テ其人其貨ヲ赦シノ理由ト考フルナリ此
 免状ヲ出スハ公務^及通商ノ損益ヲ思考^量シテ後チ
 決定スル事^也ニシテ其權全ク一國ノ主權ニ由ル所
 トス免状ハ國權ヲ以テ定ムルカ故ニ必ス之ヲ遵
 守ス可ク之ヲ准ルスノ意^{ニ通}ニシテ^{ヨリ決}權外^ノ事ヲ
 行フ可カラザルナリ又免状ハ寛^{非無}之ヲ解明
 シ必ス無用ノ綿密ニ涉ル可カラズ或ハ僅差ニ因
 テ其功用ヲ^害可カラズ免状ニ准ルス貨物量目

ノ過多ナルハ敢テ事ニ害ナシト雖モ其品貨ノ變
 スルハ大ニ事ニ害アリ即チ一物ヲ輸入スルノ免
 状ヲ以テ他品ヲ輸入スル時ハ弊害例ル可カラズ
 免状ニハ時間姓名地方ヲ詳記スルヲ以テ
 最モ緊要^ノトスル^ル凡ソ敵國ト通商スルハ原
 政有ノ許リマラサレハ我カ民敵國ト通商スル能
 ハス敵^モ我カ民ト通商スル能ハス故ニ政府如
 此キ通商ヲ准ル^ルニテ^再權外ニ置クニ必ス其
 某ノ人某ノ時某ノ地ヲ定^ルル^ルニテ^購以テ^ル
 至要^ノス如^キ此キハ即チ免状^ノ解明ニ於テ斯^ノ果^ニ德^ニ氏

論スル所トス然レハ虎哥公云ク護身免状及ヒ
通免状共ハス寛ニ解册スルヲ通則トス近時ノ
戦争ニ於テ英國我如執願通免状ヲ解クニ極
テ寛法ヲ用ヒタシ

通免状ヲ出ス
權

第四百十條 我如執願 通免状ヲ出ス人ノ
權 英國ノ捕掌ヲ免ル、ヲ得セシムルハ其
權何ヲ以テ呈レリトス可キヤ英我如執願ニ於テ
茲ニ論アリ即チ此事件ニ就テハ米國船舶
ハ、^水一^水船ノ事件ヲ以テ最モ著ルシキモノトス
此船舶ハ穀物麵粉ヲ積載シテ米國ヨリ

中、港内ニ入ラレトスル時兵船ノ為ニ捕獲セ

ラレタリ然レハ此船元トホストニ在留ノ英國

領事ヨリ出ス所ノ免状ヲ所持シ又米國ニ在ル英國水

師提督ヨリ給フ所ノ書翰アルヲ以テ保護ヲ需メ

タル事件トス此執判ヲ言及スニ付キ斯案徳氏論

シテ云ク凡ハ免状ニ因テ保護ヲ得レトスルニハ

之ヲ出ス者即チ之ヲ出ス當生ノ權無ル可カラズ

然レハ此免状ニ至テハ元來其權アラサレヨリ

出^{シタルヲ以テ}トス故ニ必ス其貨ヲ護ルニ是ラサ

ルナリ夫レ敵貨ヲ我權外ニ置テ聞ハサレ所以ノ

モノハ唯君主之ヲ主トシル臣下ニ托シテ之
 ヲ為サシムル如キハ必ス之カ為メ特權ヲ得タ
 者或ハ職掌ニ於テ暗ニ其之ヲ出スノ權アル者カニ
 出ル非レハ之ヲ正證ト做ス可カラズ何レノ國
 駐劄スルヲ論セバ領事如キハ此權アル可カ
 ラス殊トニ敵國ニ駐ん領事ニ於テ其權
 一果シテ其權アルカウサルナリ水師提督如
 キ亦勿リト抑シ提督ノ職タルヤ實ニ麾下ノ船
 艦ヲ指揮シ敵船ノ所為ヲ犯スヲ得セシムルニテ
 リ免状ヲ出スカ如キハ更ニ權外ノ餘事ト云フ可

キナ故ニ如此キ一昨ノ權ヲ以テ出ス所ノ免
 状ハ固ヨリ貨物ヲ保護スルニ足ル可カラズ又特別
 場合ニ於テ其權アルト考定ス可カラズ又討至
 ノ信スル免状全ク領事提督等ノ專斷ニ出ル時ハ
 尤ヨリ序不正ノモノト大ニ論シ此亦案ニ論アリ
 英國政府ニ於テ屬ノ權外ノ事ヲ為ル時ハ更ニ之
 ヲ確定シテ正信ノ所為ト變スルナリ即チ交
 際上ニ於テ一旦為ス所ノ約定ヲ更ニ後確定シテ
 正信ノモノト定ムルカカ一八八三年
 十月二十六日議定ニ因テ英國政府屬官ノ所

order in council

三三三

為マ確定シテ貨物ヲ給還セシマリ又セ、レワード
 事件ハ於テ控訴長ノ前ニテ更ニ裁断ヲ確定セシ
 一マリ然レドモ、チャールズ船等ノ事件ハ於テハ水
 師提督ノ一ウエシ及ヒ米國在留ノ西班牙國公使、獨
 印セシ證書ヲ以テスバ、リス、ウエスト、イニゲル、航
 海セシ時、控訴長平判裁候トテ、去リ此證書ハ候
 館、環島社等
 確定スル中モ、ニ非ル故、貨物ヲ保護スル
 能ハサシ、又米國在留ノ英國公使免状ヲ出シ
 三米船糧食ヲ積載シテ之ヲバルソロ、島ニ送
 ルヲ許ルシタシ、^時後傳ノ規則ニ於テ之ヲ確定セ

捕貨ヲ贖フ事

又傳テ公使ヨリ出シタシ免状ヲ確定セシ後傳ノ
 規則中ニ在ラザル事件ニテハ、^{從前}悉ク控訴長ニテ
 収セリ
 第四百十一條 海上ニ於テ敵貨ヲ捕拏、敵金ヲ
 以テ之ヲ贖回スルノ約定ヲ為ス時ハ、通例捕拏者ヨ
 リ護身免状ヲ與ヘテ期日ヲ定メ、其船身貨物ノ
 全ク港内ニ往ルヲ准ルヌナク、捕拏者ノ國禁ニ非レ
 ハ其免状中ニ定ムル時間及ヒ地方内ハ必ス本國
 或ハ同盟國ノ捕船ヨリ^再捕拏阻碍セラレ、丁
 無シ此免状ヲ出スハ、戰爭國ヨリ捕船ニ委任スル

司事

所^{捕船}：シテ又自ラ捕撃セラル、^{時七赤}積貨物ヲ贖回スル
 權有^赴シ便宜ニ從テ之ヲ行フナリ若シ贖フ所
 ノ船舶其^赴實^{カントスト}地ニ到ラサント前海ニ風波ノ為
 ニ沈没スル^{ト金氏其}難^ト空^トムル所、贖金ヲ拂フノ義務為
 ホ未タ消スル、^甚非^ト蓋シ捕者原ト免状ヲ與ヘテ
 本國或ハ同盟國ノ捕船ニ因テ再ニ捕撃セラル
 フ保護スルト至^至此海上ノ危難ヲ^至備^ト非^トハナシ
 又^船海^上風^浪ノ難ニ因テ亡失スル時ハ贖金ヲ
 納ルヲ免トス、^船明^約アルト至^至此大洋中ノ難^波
 フ指シテ云フ^{二區キ又セテ}岸上擱壞ノ如キニ及ハサレナリ蓋

^船船長故ラニ其船ヲ破壊シ私カニ貴重ノ貨物ヲ
 移シ贖金ヲ免ル、^船謀^ル忍^{アル}ヲ以テナリ又若
 シ贖フ所、船舶收贖状中ニ記スル時期ヲ過キ或
 ハ更ニ別路ヲ航シテ復ニ^{捕者}本國ノ為メニ捕撃セラ
 ル、^船時ハ船長贖金ヲ拂フノ義務ヲ免レ第二ノ捕
 者之ヲ殺初トス故ニ之ヲ賣却シテ贖金ヲ前捕者
 ニ返シ其殘金ヲ第二捕者ノ有ト為スナリ又若シ
^船敵^ト屬^トシタル船舶ヲ贖^ト後^々其捕者收贖状
 ト共ニ敵ノ為メニ捕撃セラレ、^船時ハ贖金ヲ拂フ
 可キ敵國ノ負債主其義務ヲ免ル、ナリ又捕者也

et jura belli

言海者

セラル、昔ヨリ^{贖金}約定ヲ^時遣カ、遂ケレ^{サレ}レカ為^ルノ人
 質ヲ取リ置キタル^其其^人死スル^時ハ^其其^人尚ホ
 其^人約ヲ廢スル^ル非^ルナリ蓋シ捕者^其唯其^人約
 ヲ堅固ニセシカ為^ルニ^其其^人過^キヤムヲ
 以テ^其其^人死亡スルト^其其^人其^人約ノ^其其^人係
 ト^其其^人預^メ別^ノ明約アル^ルハ^其其^人必ス元約
 ヲ廢ス^ルハ^其其^人ナリ
 此^レホ^レ一^ノ事^件ニ^其其^人斯^レ果^シ德^ノ氏^ノ論^ニテ^其其^人凡^ノ贖
 回^ノ約定^ニ其^レ其^人ハ^其其^人第三^ノ世^ノ定^律ニ^其其^人因^テ
 其^レ其^人英國^ノ人^ニヨリ^テ敵^ノ質^ヲ贖^回スル^ルヲ^其其^人禁^ス
^ル

ル^レ前^ニ敵^ノ英國^ノ我^レ利^ヲ執^ル廳^ニ來^テ贖^金ノ^其其^人之
 ヲ^其其^人能^ハス^ル然^レ其^レ贖^金ノ^其其^人質^トナル
 昔^{ヨリ}其^レ其^人自由^ヲ得^ルニ^其其^人其^レ其^人本^國ノ^其其^人執^ル廳^ニ
 其^レ其^人贖^金ヲ^其其^人拂^ハレ^ルハ^其其^人得^ルナ^リ然^レ其^レ其^人如^レ此
 キ^レ約定^ハ我^レ其^レ其^人互^ニ取^テ彼^ノ約定^ノ如^ク贖
 收^{アル}時^ハ其^レ其^人已^ニ敵^ト見^ルハ^其其^人非^ス故^ニ捕^者直
 々^ニ收^贖收^ヲ以^テ訴^ルル^ルヲ^其其^人妨^グル^ルナ^リ
 是^レ其^レ其^人各國^ノ海^軍執^ル廳^ノ習^ト見^ルナ^リ

萬國之法表之拾壹條

司表八目

司法自

司法自

International law
by Wheaton.

萬國公法

卷之八

八十四

方

方

三

